

# 小牧連携だより



### ◆連携ニュース◆

地域連携推進の取り組み .....	P2
小牧市民病院地域連携登録医総会の開催 .....	P4

### ◆認定看護師紹介◆

感染管理 認定看護師 .....	P5
------------------	----

### ◆地域連携トピックス◆

地域連携室の取り組み .....	P6
------------------	----

### 【 地域連携室 業務内容 】

- |                      |                         |
|----------------------|-------------------------|
| 1. 地域の医療機関との連携に関すること | 6. 訪問看護に関すること           |
| 2. 退院支援に関すること        | 7. 医療情報の提供(カルテ開示)に関すること |
| 3. 医療サービスの向上に関すること   | 8. その他(地域連携関連業務全般)      |
| 4. がん相談支援に関すること      |                         |
| 5. 医療福祉相談に関すること      |                         |

### 【 受付時間 】

平日 午前8時30分～午後7時  
土曜 午前9時～午後0時

電話 0568-76-1434  
FAX 0568-74-4516



## 地域連携推進の取り組み

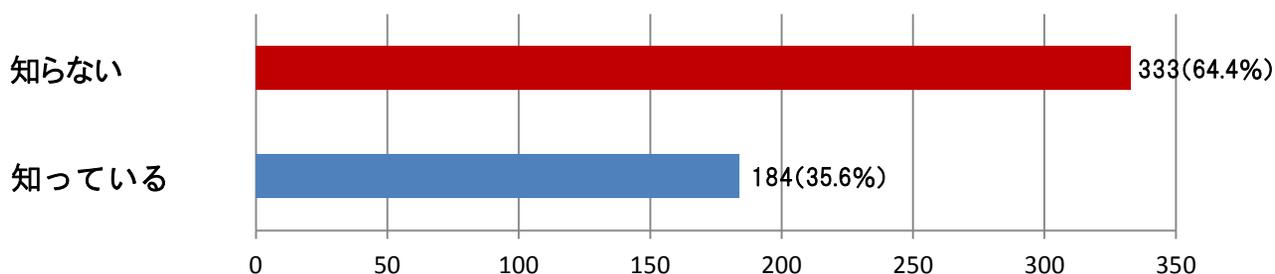
予約なしの受診患者さんがまだまだ多く、円滑な診療の妨げとなっています。このような状況を改善するため、予約なしで受診した患者さんに聞き取り調査を行いました。

### <予約なしで受診した紹介患者さんに対する聞き取り調査の結果>

調査期間:7月18日～8月10日

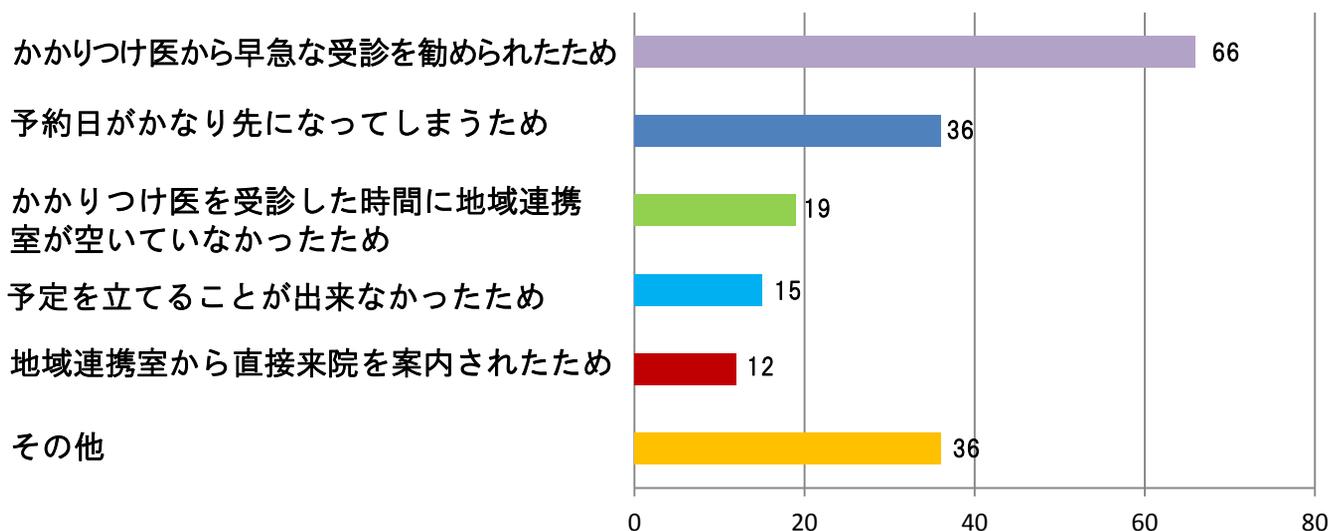
調査総数:517人

#### 紹介予約ができることを知っていますか



(総数517人)

#### 紹介予約ができることを知っているが、予約受診しなかったのは何故ですか



(総数184人)

今回の調査では「紹介予約ができることを知らなかった」と回答した患者さんが多数おみえになりました。当院では、「診療中に予約調整することが難しい」、「紹介状は診療終了後に作成したい」とのご要望に応え、患者さんが直接市民病院と予約日を調整できる体制を整えています。ぜひご活用ください。

## ＜紹介患者さんに直接予約をお取りいただく方法＞

- ①「紹介状」を当院にFAXする日時を患者さんにお伝えいただき、「紹介患者予約票」をお渡してください。当院で「紹介状」を受信後、患者さんとの予約調整が可能となります。
- ②患者さんから直接予約があることを地域連携室にご連絡ください。  
「紹介状」をすぐにFAXいただける場合は、紹介状左上の「後日、患者さんが予約します」の項目をチェックするだけで結構です。後刻、送信いただく場合には、「紹介患者連絡用紙」をご利用いただくか、「電話連絡」をお願いします。
- ③地域連携室に「紹介状」をFAXし、原本を患者さんにお渡してください。  
FAXは②の2日以内をお願いします。
- ④患者さんが地域連携室に連絡をいただき、予約日時を決定します。  
地域連携室からかかりつけ医療機関に予約日時をご報告します。

### ＜紹介患者予約票＞

かかりつけ医から小牧市民病院を紹介された皆様へ  
**診療予約は地域連携室へお電話ください**  
～ 予約受付待ち時間が少なくなります ～

小牧市民病院では紹介予約の患者さんを最優先に診察しています。紹介状をお持ちになっても予約をされない患者さんは待ち時間が長くなってしまいます。  
かかりつけ医から紹介状を受け取られましたら、地域連携室へぜひお電話ください。

○小牧市民病院地域連携室  
直通電話：0568-76-1434  
受付時間：月～金曜日 午前9時～午後5時

紹介患者予約票	
かかりつけ医療機関名：	_____
患者さんのお名前：	_____
受診科：	_____科
予約日時：	____月 ____日(____) ____時 ____分

○患者さんへのお願い  
・診察当日は \_\_\_\_時 \_\_\_\_分までに「①連絡受付窓口」へお越し下さい。  
・当日は「紹介状」「紹介患者予約票(この用紙)」「健康保険証」「当院の診察券(お持ちの方のみ)」をお持ちください。  
・外来の状況により診察や検査の時間が遅れる場合があります。

○かかりつけ医の皆様へ  
・地域連携室では、かかりつけ医の皆様からFAXされた「紹介状」の内容を確認しながら予約を取らせています。地域連携室に「紹介状」をFAXしていただく時間を考慮し、電話予約が可能となる時間を患者さんにご案内していただきます。  
・内科検査の予約については、患者さんから予約をお受けすることが出来ません。貴院より直接お申し込みいただくようお願いいたします。

### ＜紹介患者連絡用紙＞

小牧市民病院 地域連携室行き  
FAX 0568-76-4516  
TEL 0568-76-1434 (月～金曜日午前8時30分～午後7時)  
(土曜日 午前9時～正午)

**紹介患者連絡用紙**

下記、患者さんから地域連携室へ予約の電話が入ります。

紹介患者	
紹介元の医療機関名：	_____
患者さんのお名前：	_____
生年月日：	____年 ____月 ____日
紹介科：	_____科 _____医師
病名：	_____

※「紹介患者予約票」および「紹介患者連絡用紙」等の各種様式は、「2017年度版 地域連携の一層の充実を目指して」に添付してあります。また、病院ホームページからもダウンロードが可能です。

かかりつけ医の先生から早急な受診を勧められ、予約なしで受診する紹介患者さんが一定数存在しますので、当院ではそのような患者さんをスムーズに受け入れるよう、新たな予約の枠組みを検討してまいります。

## 小牧市民病院地域連携登録医総会の開催

7月1日に登録医総会を開催し、医療職の方々総勢103人にご参加いただきました。

### 登録医総会

谷口院長から「研修や情報のやりとりを推進して地域全体の医療水準の向上を図っていききたい」との挨拶後、後藤小牧市医師会長より「小牧市民病院と開業医がお互い連携しながら医療を進めていききたい」とのお言葉をいただきました。事務局からは地域連携室の取り組みのご紹介と統計報告を行いました。



### 懇親会

終始和やかな雰囲気でご歓談いただきました。

来年度の総会は、懇親会に重点をおき、今まで以上にご歓談のお時間を確保できるよう、調整してまいります。

### 講演会

放射線科部長二橋尚志医師による「PET臨床」、小牧市教育委員会考古学専門員小野友記子氏による「信長の城づくり事始 ～土の城から石の城へ～」の講演を開催しました。





小林 朝実



丑山 初美

### 感染管理認定看護師

感染管理認定看護師の役割は、院内感染で苦しむ人がないように患者さんをはじめ、面会の方、職員など病院に関わる全ての人々を感染から守ることです。当院には、2人の感染管理認定看護師が在籍している他、多職種で感染対策に関係する有資格者が在籍して活動を行っています。院内では有資格者を中心に医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師が集まり、感染対策チームを結成し、感染予防対策を継続して実施できる仕組みづくりをしています。この多職種連携によるチーム医療実践が、当院の感染予防対策の基盤です。もちろん、感染管理認定看護師も感染対策チームの一員です。そして、この多職種連携の調整、他部門、他施設との連携を担うのも感染管理認定看護師の大切な役割です。

現在、私たちが力を入れているのは、薬剤耐性菌に対する感染予防対策です。薬剤耐性菌は世界的な問題となっていることをご存知でしょうか。何も対策をとらず、薬剤耐性菌が増加した場合、2050年には薬剤耐性菌による死亡者数が世界で1,000万人を超え、がんによる死亡率を超えて死亡率第1位となる可能性があると言われていています。一旦、薬剤耐性菌に感染し発症すると治療に難渋するため、感染する前の予防が大切です。私たちは、薬剤耐性菌などの検出状況を関係部署と情報共有し、対策について毎日話し合っています。最近では、近隣の病院や施設の方と、薬剤耐性菌などの感染予防対策について情報共有を行ったり、質問を受ける機会が増えました。地域包括ケアシステムの推進などにより、薬剤耐性菌などによる感染は一つの病院だけの問題ではなくなっています。地域全体で感染予防対策の水準を上げていけるよう、協力していきたいと思っております。

#### 認定看護師とは

日本看護協会が定める21分野のうち、特定の分野に関して熟練した看護技術と知識を有している者を指します。認定看護師として活動するには、実務経験5年以上（うち3年は認定看護分野の経験）を有し、全国に23施設ある認定看護師教育機関にて6ヶ月・615時間以上を修了したうえで、認定審査に合格する必要があります。

当院には、2017年4月時点で16人の認定看護師が在籍しております。地域連携室では、小牧連携だよりにて当院の認定看護師とその役割についてご紹介させていただいております。

## ～地域連携室の取り組み～

6月22日(木)

第210回尾張臨床懇話会

演題:プライマリケアで活かせる血液学  
講師:木原 里香(血液内科医長)  
参加人数:13人

赤血球、白血球、血小板など日頃の診療と役立つ疾患の鑑別について講演しました。造血障害が疑われる際の当院への紹介は、血液検査の所見をお持ちいただくようご案内させていただきました。

7月27日(木)

第8回地域医療支援委員会  
第8回地域連携意見交換会

地域医療支援委員会では、当院の診療情報を閲覧可能なネットワークシステムの参加状況、登録医総会などの報告を行いました。

意見交換会では、紹介患者さんの情報共有の在り方について意見をいただきました。

9月28日(木)

第211回尾張臨床懇話会

演題:高齢者の摂食嚥下障害と安全な  
食事介助の方法

講師:梅元 千晴(摂食・嚥下障害看護認定看護師)  
参加人数:32人

地域の医療従事者の皆様に広く参加いただくための試みとして認定看護師による講演を実施しました。高齢者の方が安全に経口摂取を続けるために普段の生活で注意すべきこと、食事の介助方法のポイントなどのお話をしました。

10月26日(木)

第9回地域医療支援委員会  
第9回地域連携意見交換会

地域医療支援委員会では、紹介予約受診の調査結果や尾張臨床懇話会の在り方などについて報告を行いました。

意見交換会では、がん患者さんのフォローアップ体制やポリファーマシー対策について意見をいただきました。

## <今後の活動>

1月25日(木)

第10回地域医療支援委員会及び意見交換会

2月22日(木)

第213回尾張臨床懇話会

演題:スキンケア ～冬の乾燥対策～ フットケア ～靴や靴下の選択～  
講師:皮膚・排泄ケア認定看護師

